

【低学年(1・2年)の家庭学習】

家庭学習のめやす 30分

低学年(1・2年)では…

学習習慣の定着には「早寝早起き」「規則正しい食事」など基本的な生活習慣を身に付けることが大切です。

学校での学習に沿って内容や方法を決めて取り組み、家庭で援助しながら、できたことをほめることによって興味・関心を引き出し、意欲を高めることができます。

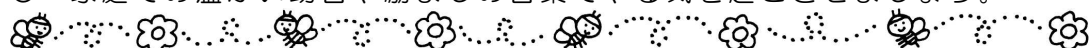
学習の特徴

- 45分を1時間とした授業の中で「読み、書き、計算」などの基礎的・基本的な内容を学習します。その中には繰り返し学習することで力がつく学習内容がたくさんあります。
- 「正しい姿勢で座る」「鉛筆を正しく持つ」「明日の授業の準備をする」「身の回りの整理整頓をする」ことが、学習の基本となります。
- 生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりする学習が中心になります。



家庭での援助

- 学習を始める前にテレビなどを消しましょう。勉強する場の整理整頓をしましょう。
- 学校からの連絡やお便り、明日の授業などを子どもと一緒に確かめることが大切です。
- 学習時間を決めて、家庭学習をする時は近くにいてあげましょう。
- まずは、毎日宿題をやりきらせることを続けましょう。
- 一緒に買い物をしたり、時計をよんだりしながら、子どもの生活体験を増やしましょう。
- 家庭での温かい助言や励ましの言葉でやる気を起こさせましょう。



【中学年(3・4年)の家庭学習】

家庭学習のめやす 45分

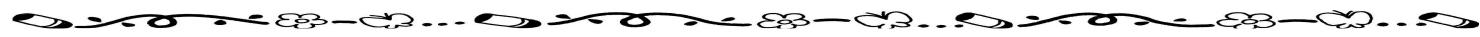
中学年(3・4年)では…

自立心が芽生えてくるとともに、自分でやろうとすることが多くなり「やる気」や「根気」が育つ時期です。語い(言葉)の獲得能力が高くなり、抽象的な思考ができるようになっていわれています。

「急に勉強が難しくなった」という戸惑いや苦手意識を持つ子どもも出てきます。自信を持たせたり意欲をふくらませたりするような励ましが大切です。

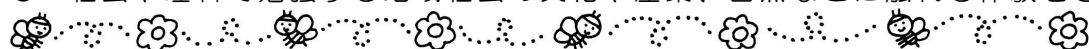
学習の特徴

- 総合的な学習の時間や社会、理科の学習が始まり、学習する内容も大きく広がります。
- 国語辞典や漢字辞典、地図帳などの使い方を学び、自分で調べる学習をすることが多くなり、自学自習の基礎を学びます。
- 算数では、四則計算(+)、(-)、(×)、(÷)の基礎・基本を徹底して学ぶとともに、分数や小数など少しずつ抽象的な内容も学ぶようになります。



家庭での援助

- 家庭での温かい助言や励ましの言葉でやる気を起こしたり、宿題や持ち物を点検したりするなどの手助けが必要です。徐々に自分でできるように支援していきましょう。
- 自分から机に向かう姿勢を育て、集中して取り組む習慣を身に付けさせることが大切です。
- 学習を始める前にテレビなどを消し、学習する場所の整理整頓を行い、自分でその日の宿題を確認させ、必ずやりきらせましょう。
- 学校からのお便りなどをきちんと手渡す習慣を身に付けさせましょう。
- 社会や理科で勉強する地域社会の文化や産業、自然などに触れる体験をさせましょう。



【高学年(5・6年)の家庭学習】

家庭学習のめやす 60分

高学年(5・6年)では…

生活のリズムの乱れは学習習慣にも影響を及ぼします。もう一度生活習慣を見直し、計画的に学習を進めることが重要です。

学習に対する意欲や興味・関心を高めるために、家族の言葉かけが大切になります。目標を決めて、努力できるように、あたたかく見守りながら励ましましょう。

学習の特徴

- 学習内容が多くなり、論理的な内容や抽象的な思考を伴う学習が増えます。
- 筋道を立てて考える力や広い視野で物事を見る力が必要になります。
- 家庭科の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学びます。
- 自ら学ぶことのおもしろさや楽しさを経験することで、ものの見方や考え方を深めることができます。



家庭での援助

- 学習を始める前にテレビなどを消しましょう。
- 学習する場所を決め、整理整頓し、計画を立てて学習が進められるようにしましょう。
- ほめたり励ましたりすることで、「やればできる」という自信を持たせ、子どもの自尊感情を育てるようにしましょう。
- 家族の一員としての役割を自覚させて、具体的な仕事を分担させることも大切です。
- 学習した内容を家庭生活の中で実践したり、生活の中に生かしたりできるようにしましょう。